



2012～2013 年度 **中部部報** 第 3 報

中 部 部 長 主 題 「前へ！声を掛け合い！」

部長所感

中部部長 名古屋南山クラブ 荒川文門

「一歩でも前進というよりは、後ろを向かない、何事にも積極的に、また共に寄り添い協力しあって進もう。」を常に念頭に置き、一年を働こうと思い動いた一年でした。この何十年か外に向かって行動を起こしたことの無いワイズ生活から一歩踏み出し、出来るだけ外に向かって活動しましたが、十分なものは程遠いものでしたが、中部自体には、色々新しい動きを感じる事が出来ました。各クラブとも、積極的に外に向けたプログラムが展開できたのではないかと思います。金沢、犀川両クラブの新メンバーへ獲得のための働きかけ、DBC計画、名古屋地区ではチャリティーランを初めとしYMCAと協力したプログラムが見受けられました。四日市クラブは、西日本区大会準備の目覚ましい働き、YMCAサポート等活動的でした。

部長として、各地の部会（びわ湖、六甲、京都、中西部、西中国）に出席。公式訪問として部内各クラブを1～3回訪問しました。また 部報1, 2号、部長通信随時発行（9号まで）しました。

今期の中部のメイン事業の一つは西日本区大会のホストであり、この会を成功させる事が志半ばで天に召された成瀬理事の意に叶うことでありました。準備委員会等を月一回の割で四日市クラブ若松委員長、大西書記のもと開催しました。大会準備のため毎週会を持っている準備部会もありました。西日本区大会は無事成功裡に終わり、成瀬理事も天国から微笑んでくださっていると信じています。

年度当初8月の中部部会（参加者130名）と第一回評議会、2013年3月の第二回評議会では、中部の抱える諸問題を検討して頂きました。評議会での討議結果は部長通信にアップしてありますのでご覧ください。それぞれのおもな各事業行事は以下のようです。（ ）は主たる担当クラブ、地域等

YMCAサービス・ユース事業 松原 誠 事業主査

- 7月：南山YMCA夏祭り（南山クラブ）、日和田ワーク場ワークキャンプ（名古屋、東海、グランパス、プラザ各クラブ）
- 8月：中部部会での献金を九州阿蘇地区豪雨災害へ。
日和田まつりキャンプ支援（グランパス）、パレットキャンプ支援（プラザ）、日韓ユースセミナー支援（名古屋5ワイズ）、ユースコンボケーション派遣支援（中部）
- 9月：夏季プログラムリーダー感謝会（南山）、ユースコンボケーション報告会（グランパス）
- 10月：根の上祭り（中部）、南山ピースフルサンデー（南山、グランパス、東海、名古屋、プラザ）、招待イモ掘り（南山）
- 11月：第19回チャリティーラン支援 参加者300名（名古屋5ワイズ） チャリティーゴルフ
- 12月：クリスマスカードコンテスト主催・支援（東海）、クリスマスキャロル イン セントラルタワーズ（中部）
- 1月：リーダー招待新年会（南山）
- 3月：チャリティーウォーク（中部、名古屋5ワイズ）、YYフォーラム 参加者90名（中部、名古屋5ワイズ、四日市）昨年度のYYフォーラム同様綿密に計画された素晴らしい会でした。
- 4月：根の上祭り（名古屋5ワイズ、四日市、津）、たけのこキャンプ（金沢、犀川）



地域奉仕. 環境事業 島崎 剛 事業主査

- 8月：中部部会献金を九州阿蘇地区豪雨災害へ。
- 10月：ふるさと交流会 愛知牧場（中部、名古屋）
クリーンキャンペーン（金沢、犀川）
- 11月：震災復興視察、交流イン仙台（グランパス）
ながまちフェスティバル（金沢、犀川）
- 5月：陸前高田市長講演会「東日本大震災に学ぶ」於東別院会館
（中部、名古屋、グランパス）

ほぼ毎月四日市、金沢など中部各地で復興支援のための街頭募金が行われています。（中部）

地域、環境事業に関しては、各クラブ独自のプログラムを展開しています。中部全体というよりは個々のクラブでの展開が目立ちます。



EMC事業 松本 勝 事業主査

- 4月：米村事業主任をお招きして、EMCワークショップを開催、参加者30名（中部）
- 年間を通して数自体はさほど変わりませんがメンバーの出入りの多い一年でした。金沢クラブの3名同時の入会式、四日市クラブ若松ワイズのブラスター賞申請、など話題も多くありました。



交流事業 川本 龍資 事業主査

- 8月：STEP四日市クラブ推薦大西慎一郎君ケニヤへ出発
- 9月：名古屋クラブのIBC韓国聖岩クラブとの交流（犬山鶴飼等）、南山クラブ台北中正クラブとの交流、グランパス富士山部訪問
- 10月：主査によるアンケート実施。
- 11月：金沢クラブ・仙台広瀬川クラブDBC内定、グランパス仙台訪問
- 12月：南山クラブ台北中正クラブと交流
- 1月：名古屋・グランパス・京都東稜クラブ合同例会、グランパス・東稜クラブDBC内定
- 3月：東海・御殿場・奈良合同例会、STEP報告会（中部）参加者50名
- 4月：グランパスIBC仁川クラブ訪問
- 6月：金沢クラブ仙台広瀬川クラブとDBCを東日本区大会で締結
名古屋グランパスクラブ京都東稜クラブと西日本区大会で締結



メネット事業 荒川 まこと 事業主査

- 8月：中部部会に先立ちメネット会開催 震災復興についてDVDと仙台YMCA安永主事の話
- 10月：金沢クラブ訪問
- 11月：「心のケア」講習会 野村事業主任担当 参加者60名
- 4月：名古屋クラブメネットナイト参加



広報事業 近藤 豊 事業主査

- 各種情報の整理、管理に着手。
- チャリティーラン、YYフォーラムなど、TV等で紹介。

ファンド事業 川村幸治 事業主査

- 各クラブへ、JWF始め各種ファンドの献金を依頼。

中部部会、評議会

8月：中部部会、第一回評議会 中部部会は参加者130名。

3月：第二回評議会 部費の改正、次期及び次々期中部役員の確認承認、部則の点検など

中部各クラブの一年間の歩み

この一年の間に公式訪問として2回、ないしは3回訪問させて頂きました。それぞれ独自の動きがあり、楽しい交わりを持たせて頂きました。各クラブ会長さんより頂きました事業報告をもとに簡単に御報告します。

金沢クラブ 幸正 一誠 会長

会員数10名、この一年間に2名のメンバーを天に召され、4月に3名の入会式をしましたので現在は11名。例会にはメネットが多く出席され、中部で一番古いクラブとして、格式と伝統を持ったクラブです。今期の一番のトピックは、仙台広瀬川クラブとDBCを結んだことでしょう。そのために、何度か仙台に足を運び、先日の東日本区大会の席上で締結式を終えました。震災復興支援が結んだ縁です。



名古屋クラブ 五島 八郎 会長

会員数27名 故成瀬理事のホームクラブであり、現西日本区の事務局も担当してもらっています。今期は、理事事務局、西日本区大会準備と大変の中、IBC韓国ソナンクラブとの交流、YMCAへの奉仕、東日本復興支援のための陸前高田 戸羽市長の名古屋市民のための講演会の主催などクラブとしての活動機会も多く名古屋地区5ワイズのリーダー的役割を果たして頂きました。



東海クラブ 鈴木 一弘 会長

会員数20名。毎月の例会の充実ぶりが目立ちます。多彩な卓話、プログラムで出席意欲を高めています。また鈴木会長の精力的な活動で震災復興支援を地道に行っていますし、「心のケア」への取り組み、理解度も抜群です。DBC（御殿場、奈良）との交流も盛んです。名古屋YMCAの根の上キャンプ場の維持管理、利用にも積極的で東海クラブのメインターゲットの一つでもあります。



南山クラブ 小塚 英史 会長

1名プラスで会員数10名。部長のホームクラブで、9名のメンバー中事務局長初め書記会計主査を出し、中部の諸事項をすべて支えて貰いました。メインターゲットは、秋に行う幾つかの施設、障害者を招いてのイモ掘り大会のための通年に渡る畑の管理です。またIBC（台北中正クラブ）との交流が盛んで年何回か行き来しています。またリーダー支援のプログラムを常に行っています。



四日市クラブ 早川 直希 会長

会員数29名 今期は、西日本区大会のホストクラブとして若松委員長、大西事務局長を初めこの一年間本当に頑張って頂きました。新入メンバー3人紹介のブースター賞に名乗り出たり、かなりの増強もありましたが、外部への活動だけでなく、街頭募金など地道な活動にも熱心で、四日市YMCAを支える重要な母体になっています。四日市市民にも街頭募金などで積極的に働きかけられました。



名古屋プラザクラブ 高田 廣 会長

会員数8名。音楽（オルガン）演奏による施設訪問、中部部会、西日本区大会その他の大会には常に全員参加。陶器作りなど文化、芸術プログラムの充実が目立つクラブです。名古屋YMCAへの結びつきも強く、YMCAの諸活動にも常に積極的に参加し、今回の西日本区大会の準備にもおおくのメンバーが関わりました。他クラブ主催の活動への積極的な参加が目立ちます。



グランパスクラブ 阿部 一雄 会長

会員数12名 今期は、復興支援のために東北訪問、富士山部会への出席、韓国仁川クラブのIBC訪問、京都東稜クラブとのDBC、陸前高田の戸羽市長を招いての復興支援講演会主催等毎月のように特別プログラムを持ち、大変な活躍ぶりでした。また、震災復興支援のための物品販売にも積極的に取り組んで頂きました。このまま来期を迎えれば強力なクラブになること間違いなしです。



津クラブ 芝山 隆史 会長

会員数6名 メンバー数は少ないながら地方都市のワイズ活動を支える重要なメンバー諸氏です。毎月の例会は、ワイズの諸式に基づき、きちんと守られています。会場もしっかり確保され例会としては素晴らしいものでした。また津市民を招いての餅つき大会などメンバー数は少ないけれど地域には積極的に参加しています。来期メンバー増強でさらなる活動を望みます。



金沢犀川クラブ 澤瀬 諭 会長

会員数6名 津クラブ同様少人数ではありますが、堅実なクラブ運営が見られます。街頭募金、タケノコ掘り大会、クリーンキャンペーン、メンバーの親交を深めるBBQ大会、句会などバラエティにとんだプログラム活動をしています。次期中部部長平ロワイズのホームクラブで中部事務局も引き受けて頂きました。部会の運営、中部事務局としての活動を通し、なお一層の活躍が期待されます。



この一年を終り6月22日の西日本区大会の役員引き継ぎ式で平口部長に引き継ぎをし、ほっとしたところです。2011年から次期部長として色々ありましたので、実際には2年近く、長かったようで短くもあった年月でした。30年ほど前の日本区時代の北西部長以来のことで戸惑うことばかり、西日本区自体の組織も変わり部の働きももっと細くなり仕事がうんと増えていました。年寄りの出る幕ではないと思ったこともありました。ワイズ一年生のつもりで極力外に出て、皆さんと交流を深め、楽しさを味わい、広めたいと思いました。公式訪問として参加させて頂いた各クラブの温かいおもてなしを受けたこと、色々な部会に参加出来たこと、など部長ならではの特権として十分享受出来、楽しい一年でした。

今期中部としては、に西日本区大会ホストと言う大役を仰せつかり、部内の四日市クラブを初め在名5クラブのメンバー、遠く金沢、津のクラブの皆様が各委員会活動を実行してくださり、無事何とか成功裡に大会を終えることが出来ました。本当にありがとうございました。ただこの大会を夢見られていた成瀬理事が道半ばで急逝されたことは本当に残念なことでした。どこかで、あの大会風景を昔のパイプを咥えながらにこにこされている姿が思い浮かびます。そんな成瀬理事の姿を浮かべつつ、この一年御協力くださった皆様に感謝いたします。又、私を支えて頂いたホームクラブの南山クラブの皆様にも改めて感謝いたします。本当にありがとうございました。